

兵庫 県
保険 医 協 会

西宮 芦屋

支部 ニュース

No. 294

2011・4・5

発行
〒662-0074

兵庫 県 保 險 医 協 会
西宮市石別町十八ー八

大森内科医院内
電話 〇七八(三九三)一八〇一

西宮・芦屋支部

東日本大震災救援対策本部を立ち上げ



仙台市内の小学校避難所

西宮・芦屋支部は3月15日、本部長を大森公一支部長とする「西宮・芦屋支部東日本大震災救援対策本部」を立ち上げ、3月24日に正副支部長会議を開催し、震災支援について話しあった。

会議では、3月20～21日に宮城、仙台などの被災地を訪問した広川恵一先生から被災地の状況が報告され、今後も継続的に被災地への訪問を行うこと、放射線被爆についての緊急特別研究会を開催すること、支部・協会が出版し、このたび1000部増刷となった「阪神・淡路大震災の経験と記憶を語り継ぐ 被災地での生活と医療と看護」を避けられる死をなくすために「」の普及を行うことなどが確認された。

西宮芦屋支部・協会研究部・薬科部共催
<緊急特別研究会>
放射線災害報道を理解するための基礎的な知識
～すでに放射線災害医療に遭遇するかもしれない状況下にあります～

【日 時】 4月16日(土) 16時～18時
【会 場】 兵庫県保険医協会会議室
【講 師】 医療法人明和病院放射線科 診療放射線技師
第1種 第2種 放射線取扱主任者
樽岡 照知 氏

※お問い合わせは、事務局 岡林・山田まで Tel:078-393-1817

緊急重版!

大都市直下型激震・阪神淡路大震災での
看護ボランティア・15周年シンポの記録

阪神・淡路大震災の経験と記憶を語り継ぐ

被災地での生活と医療と看護
～避けられる死をなくすために～



兵庫 県 保 險 医 協 会 / 協 会 西 宮 ・ 芦 屋 支 部 編
発 行 クリエイツかもがわ
A5判136ページ 会員特価1500円(送料込)
※本書籍のお求め・お問い合わせは、
事務局 岡林・山田・伊藤まで
TEL 078-393-1817



森下敬司先生(右上)がまとめのあいさつ



講師を務める田中氏

3月5日、ホテル竹園芦屋で新規開業医交流会を開催。「患者さんに好感をもたれる医院づくり」をテーマに、株式会社日本産業総研の田中徳一氏が講演し、新規開業医ら19人が参加した。講演後に宮崎義彦先生(西宮市・みやざきレディースクリニック)の司会で、日常診療や医院経営の悩みなどを、食事を楽しみながらざつぱらんに交流した。参加者の感想文を掲載する。

私はこの会に参加するのは、これで3回目になります。いつもベテランの先生方のお話を聞くのを楽しみながら参加します。もちろん新規開業の先生方と交流するのも新鮮です。

私は開業して3年が過ぎようとしている今日この頃ですが、何年も続けてこられた大先輩のお話は、年々理解が深まる思いがします。

また、他科の先生とお話することは歯科にとつてあまり日常的ではないので勉強になります(驚くこともあります)。

今後ぜひ参加していきたいと思えます。

【芦屋市・高橋歯科医院 谷端 美香】

新規開業医交流会 年々深まる先輩医師のお話

第26回在宅医療研究会

在宅訪問時の服薬指導に役立った

3月12日、西宮神社会館で第26回在宅医療研究会を開催。土山雅人先生(西宮市・つちやま内科クリニック)の司会で、医師・ケアマネら69人が参加した。話題提供①では「在宅で役に立つ話」をテーマに甲子園訪問看護センター管理者の上原恭代氏が、話題提供②では「訪問看護師と学ぶ」介護職員等のための痰吸引研修」報告」をテーマに協和マリナ訪問看護ステーション管理者の渡邊幸子氏が講師を務めた。講演では「在宅で多くみられる皮膚疾患」予防やケア・専門医紹介のポイント」をテーマに西宮市・はらだ皮膚科院長の原田晋先生が講師を務めた。参加者の感想文を掲載する。

今回で26回を迎える西宮・芦屋支部の在宅医療研究会は、3月12日に西宮神社会館で開催されました。当日は東日本大震災発生の日ということもあり、司会の土山先生のご配慮により、冒頭で犠牲となった方々へ黙祷を捧げました。私は心の中で原子力発電所での被害がこれ以上広がらないこと願いつつ、この研究会に臨みました。

第一部での話題提供では、「在宅で役に立つ話」と題して甲子園訪問看護センター管理者の上原恭代さんから、訪問看護ステーションネットワーク西宮について説明があり、在宅での様々な問題に対応する相談窓口として訪問看護ステーションを利用して欲しいということで、市内なか所の事業所名簿も配られました。

その後、協和マリナ訪問看護ステーション管理者の渡邊幸子さんより、「介護職員等のための痰吸引研修」の報告がありました。PT、OT、ST、ヘルパー、ケアマネ等の職種の方々14人がこの研修を受け、在宅生活を支えていくには、ご家族も含め多くの職種の方々の連携が必要であることを今まで以上に実感したということでした。

なお、厚生労働省では、介護職員などによる痰吸引等の実施のための制度のあり方についての検討会を立ち上げて、現在中間報告が行われているところだそうです。

第二部は、はらだ皮膚科クリニックの原田晋先生から「在宅で多くみられる皮膚疾患」と題して、褥瘡以外の皮膚疾患に話を絞った講演がありました。



講師の原田先生(左)と話題提供者の上原さん(中)、渡邊さん(右)

前半は、老人性皮膚そう痒症、老人性乾皮症の原因と治療の説明から始まり、痒みの種類にも末梢性の痒みと中枢性の痒みがあり、中枢性の痒みには抗ヒスタミン剤(抗アレルギー剤)が全く無効であることや、紫外線療法が老人性皮膚そう痒症に対して有効であることの説明がありました。

後半は、皮膚リンパ腫、水疱症、疥癬、薬疹について、臨床写真のデータも織り交ぜながら種々の疾患の特徴と見分け方について分かりやすい説明がありました。

薬剤師の立場から、特にアレルギー性薬疹の特徴やその感作と感作期間、薬疹の発症機序についての講演内容は、在宅訪問時に大変役に立つ内容で、早速患者さんへの服薬指導に引用させていただいております。

会場からの質問にも熱心にお答えいただき、おむつかぶれの時に抗真菌剤を使うかステロイド剤を使うかの見極めのポイントについての確かなアドバイスをいただきました。また、ラテックスアレルギーとフルーツアレルギーの交叉反応については、多くの患者さんと直接接することの多い在宅の医療現場では、常に気を付けておかなければならないと実感いたしました。

次回は7月16日に西宮神社会館で27回目の在宅医療研究会が開催されます。最前線の医療現場で働く方々との交流の場としたいと思います。

【西宮市・瀧川薬局 瀧川 秀樹】

世話人会だより

西宮・芦屋支部は2月25日に西宮医療会館で世話人会を開催。8人が参加した。

【報告】

①健康と医療について語り合う会(1・29)

②第25回漢方研究会(2・5)

【予定・企画】

①新規開業医交流会(3・5)

②健康と医療について語り合う会(3・11)

③第26回在宅医療研究会(3・12)

④第16回医療過誤訴訟セミナー(3・19)

⑤メディカルスタッフ勉強会(4・2)

⑥英語で診療 Medical English #29(4・15)

⑦職員接遇研修会(5・28)

⑧第26回漢方研究会(6・4)

⑨第27回在宅医療研究会(7・16)

⑩第31回支部総会(7・23)

⑪西宮・芦屋支部設立30周年企画(10・22)

⑫梅村聡議員との勉強会

⑬審査対策研究会

⑭財政と医療制度の勉強会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

英語で診療 Medical English #29

【日時】 4月15日(金) 13時半～15時

【会場】 西宮医療会館1階会議室

【テーマ】 医療英会話 基礎 2回シリーズ その2

【講師】 Com Language School
Mr. Robert Conroy

【司会】 西宮市・ビューハイクリニック
坂尾 福光 先生